

特 44

789

東 京 圖 書 館

和 書 門

音 楽 類

函

四 八 架

五 號

二 八 冊

心

月

雨月



雲水乃く 行書
らん 早知 せん 哉ら矣

ふ 後 居 たる 西 行 法 師 少 子 云 哉

宿 於 子 細 あり ふ より の 唯 今

後 命 の 時 林 小 美 病 徒 小 病 徒 經 小

地... 雲... 鳥... 魚... 虫... 草... 花... 木... 石... 土... 水... 火... 風... 雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞... 雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...
雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...
雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...
雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...

我が世の... 雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...
雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...
雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...
雲... 霧... 露... 雪... 雨... 雷... 電... 虹... 霞...

晴天の雨月平沙と雲は夏の
 秋乃雲と入るふ秋のそら
 なるりふ根ぬ半は月なら面白
 の折るやあ^{コキ}らうに世屋の月
 へ雲内^{コキ}ゆる^{ニテ}流るる後のひそ
 け言ふる^{コキ}行かむ^{コキ}あはれ^{コキ}あはれ

若くは^{コキ}あはれ^{コキ}あはれ^{コキ}
 しき葉の庵やと^{コキ}あはれ^{コキ}
 けり^{コキ}あはれ^{コキ}あはれ^{コキ}
 毎^{コキ}あはれ^{コキ}あはれ^{コキ}
 人^{コキ}あはれ^{コキ}あはれ^{コキ}
 去^{コキ}あはれ^{コキ}あはれ^{コキ}

一 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 二 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 三 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 四 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 五 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 六 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 七 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 八 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 九 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 十 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

一 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 二 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 三 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 四 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 五 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 六 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 七 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 八 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 九 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

 十 乃草花庵の法ハツふハツのハツくハツとハツ

あはれらるる残りの世に
さくららるる後や別らるる
下れあはるる世よの世とほつせ
終りてお宿りおこしや

平素我をわきまを
とがのひおる月の漏るるま

北と巻ふ角よ 残るる端残
あきをそららるる月の漏るるた
まれとおるにるる残るる端
きをわつらぬ 面白くこの葉
やあはれらるる世よの世とほつせ
もあはれらるる世よの世とほつせ

去る夜さしき世後入也上考新し
 移あつてくヤウ三又夜中の新月
 北二千里の外ヤアを念志トを
 移乃ヤア雨乃又清細乃トよるを
 あんそ思らるトあむ村ら
 笑ト笑むトあむ田のさむ

遠里小舟乃嵐中ト往ト夢
 時もなるとまはるまふ移く世
 新瑞乃おふ吹着るをヤアあふ
 てをぬりたりトあむのトあ
 吹る中トあむをトあむ
 うる月トあむをトあむ

往乃上^ナ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ
空^{ソラ} 色^{イロ} 下^シ 雲^{クモ} 霞^{カサミ} 月^{ツキ} 夕^{ユフ} 下^シ

しと津守の如射多^チ ねの秋^{アキ} 老^{ヲシ} 者^{モノ}
妻乃^{メノ} 孫^{ムスヒ} 方^{カタ} 乃^ノ 死^シ 夢^{ユメ} 亦^モ 可^カ 多^タ 有^ル 也^ナ
入^イ 花^{ハナ} 子^コ 様^{サマ} して 友^{トモ} 亦^モ 有^ル 也^ナ 花^{ハナ}
と 終^{ハシ} まむ 味^{アジ} 何^{ナニ} ち^チ 有^ル 也^ナ 味^{アジ}
吟^{イン} や 影^{カゲ} 陰^{カゲ} 陽^{ヨウ} 二^ニ つの^{ツノ} る^ル 事^{コト} ま^マ の^ノ る^ル 也^ナ
の^ノ 也^ナ と^ト わ^ワ る^ル 事^{コト} 又^{マタ} 律^{リツ} と^ト 有^ル 也^ナ 律^{リツ}

土金水あり。よ下の則天地入乃
 三才の是縁珍なる。我と
 往とつ思ふが。けれんそ西の
 海ありき。ららの波用より。地
 らうし。ゆ。終よし。此。神像ま
 さらう。さうの。探出林の周縁

とたの縁き。ふ。ひう。の都率
 の月院ありて。さ。貴徳王。書。後と
 号し。今。又。玉垣の。う。らの。あ。よ
 海。と。し。お。考。と。ち。つ。と。さ。み。の。え
 や。お。林。乃。と。さ。い。ふ。さ。ひ。て。ス。く
 風像と。ち。く。さ。う。家。お。考。の。人。稀

ひ

ん

あゝ舞ふ由はなほなほのまはるる
 へちまのちかひのやまのまのまのま
 こゝれは月夜多ふまのまのま
 まのまのまのまのまのまのま
 ひととほのまのまのまのまのま
 再録上向のまのまのまのまのま
ヤカ

あゝ舞ふ由はなほのまのまのま
 こゝれは月夜多ふまのまのまのま
 まのまのまのまのまのまのま
 ひととほのまのまのまのまのま
 再録上向のまのまのまのまのま
ヤカ

元
うさかまを林溪とあやぐ
とゆふとこれ林のあやぐ
かたの官人となりて
おふ海りたるやまのあやぐ
ふりき梨

右之本者觀世太夫章句真本令版行畢

正徳六丙申歲跡生

示来荏苒数十年ノ星霜ヲ經ルニ從ヒ改正増補ヲ加ヘ
シモ印刷ニ附セサレハ之ヲ世ニ公ニスル能ハサルヲ悲ミ今般
宮内省 御用達觀世清孝ノ校合ヲ以テ茲ニ之ヲ上梓スト云

明治十七年七月五日 出版御届
同 年七月 刻成癸兌

定價

京都府平民

出版人

檜

常



上京區第三十組三条通寺町西
丁子屋町 十一番戶

